

令和6年度 金光学園乳児保育園 保育士自己評価集計表 及び 園としての評価

常勤/非常勤 の別	人数	A 本園の職員として基本的な心構えをもっている																								B 子ども一人ひとりに対する理解と受け入れ																									
		1					2					3					4					5					6					1					2					3					4				
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1					
常勤保育教諭	4人	0	3	1	0	0	0	2	1	1	0	1	3	0	0	0	0	1	1	2	0	3	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	2	2	0	0	0	3	1	0	0	0	1	2	1	0	0	2	2	0	0
非常勤保育教諭	4人	1	2	1	0	0	1	1	2	0	0	1	0	3	0	0	0	0	2	2	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	2	0	0	1	2	1	0
合計	8人	1	5	2	0	0	1	3	3	1	0	2	3	3	0	0	0	1	3	4	0	4	3	1	0	0	0	1	1	2	4	1	3	4	0	0	0	5	3	0	0	0	2	3	3	0	0	3	4	1	0
園としての評価		1~6について、3以上が望ましい。目指していけるように個々で気をつけていきたい。特に5については、全員が5が望ましい。行事後の研修時間を活用し、守秘義務について再度確認徹底する。																								1~4について、全員3以上が望ましい。2と3については、言葉の置き換えができるようにリフレーミングを研修に取り入れる。																									

常勤/非常勤 の別	人数	C 遊びや生活を通じた人間関係の形成																				D 職員間の連携																				E 保護者の支援									
		1					2					3					4					1					2					1					2														
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1										
常勤保育教諭	4人	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	3	1	0	0	2	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0	3	1	0	0	1	2	1	0	0	1	2	1	0	0	1	3	0	0	0
非常勤保育教諭	4人	0	2	2	0	0	0	1	3	0	0	0	2	2	0	0	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	0	0	0	2	2	0	0	2	1	1	0	0
合計	8人	0	4	4	0	0	0	3	5	0	0	0	2	6	0	0	2	3	3	0	0	4	4	0	0	0	0	5	3	0	0	0	5	3	0	0	2	3	3	0	0	1	4	3	0	0	3	4	1	0	0
園としての評価		1~4について、全ての項目で全員3以上だったことは評価できる。4以上を目指し、努めていけるようにしたい。																				1~4について、全ての項目で全員3以上だったことは評価できる。今後も継続して職員間の密な連携やそれに必要な時間を作るように努めていきたい。																				1~2について、全員3以上だったことは評価できる。5に近づいていけるように研修に努めたい。									

●自己評価項目

A 本園の職員として基本的な心構えをもっている		D 職員間の連携が取れている	
1	気持ちの良い身だしなみ、明るい笑顔、挨拶を心がけ実行している	1	職員間でも明るい笑顔、挨拶を心がけている
2	自分の健康管理と情緒の安定を心がけ実施している	2	報告・連絡・相談がなされ、意思統一ができています
3	他の職員に対して、相手が不快に感じる態度をとっていない	3	それぞれの役割を理解し、適切な対応ができるように努めている
4	研修に参加したり専門書を読むなどして、自分の知識や技能の向上に努めている	4	お互いを補い協力し合うことを心がけ実施している
5	園に関わることにに関して一切他へもっていない	E 保護者の支援に努めている	
6	出勤は10分前を心がけ実施している	1	園や家庭での様子を伝え合う中で、子どもの育ちを保護者とともに考え喜び合うことができています
B 子ども一人ひとりに対する理解を深め、受け入れようと努めている		2	保護者には常に謙虚な気持ちをもって接している
1	子どもの思いを大切にしながら対応している		
2	子どもにわかりやすく温かな言葉遣いや穏やかな表情で接し、安心感を与えている		
3	制止や禁止の言葉を不用意に用いないようにしている		
4	子どもの年齢や発達段階、取り巻く環境に応じた援助や支援を行っている		
C 遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮している			
1	年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している		
2	子どもの意欲を高めるような遊びの準備・環境整備等、保育内容に配慮している		
3	トラブルの場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している		
4	子ども同士の関係を、より良くするような言葉掛けをしている		